

# 令和3年度 第7回 江南区自治協議会

日時：令和3年10月28日（木）午後1時30分～

会場：江南区役所3階 302会議室

## 1. 開会

### ○土田地域総務課長補佐

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。定刻になりましたので令和3年度第7回江南区自治協議会を開催させていただきます。

当会議につきましては公開することとし、記録作成のため録音及び撮影をさせていただきますのでご承知おきください。

資料の確認をお願いします。

(資料確認)

### ○土田地域総務課長補佐

本日の会議について、阿部委員、遠藤委員、中野委員、佐々木委員から欠席のご報告をいただいております。

## 2. 会長あいさつ

### ○土田地域総務課長補佐

それでは、開会に伴いまして、はじめに、小林会長からご挨拶お願いいたします。

(会長あいさつ)

### ○土田地域総務課長補佐

次に議題に入りますが、ここからの進行は小林会長にお願いいたします。

## 3. 議題

### (1) 令和3年度 江南区教育ミーティングの開催について

#### ○小林会長

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。ご意見のある場合は、挙手のうえ簡潔明瞭にお願いしたいと思います。

それでは、最初に（1）令和 3 年度 江南区教育ミーティングの開催について、支援センターの佐久間所長、ご説明をお願いいたします。

#### ○佐久間江南教育支援センター所長

いつもお世話になっております。江南区教育支援センターの佐久間でございます。私からは、令和 3 年度江南区教育ミーティングの開催について、ご案内をさせていただきます。

それでは、お配りしました資料 1 をご覧ください。例年開催をしております、区教育ミーティングは、区自治協議会委員の皆様と、区担当教育委員、教育委員会事務局職員が意見交換、懇談を行うことによって、区の特性や地域の実情を把握し、教育施策に反映できる体制づくりを目指して開催をしているものでございます。

今年度は、12月の自治協議会に併せまして開催をさせていただくことにいたしましたので、本日ご案内をさせていただきます。はじめに日時ですが、令和 3 年 12 月 23 日木曜日、自治協議会開催前の午後 1 時 30 分から 1 時間程度を予定しております。次に会場です。こちらの資料には記載をしておりますが、自治協議会の会場はこちらの 302 会議室を予定しているとのことですので、同じくこの会場で行う予定です。事情により自治協議会の会場が変更になった場合にはご連絡させていただきます。

次にミーティングのテーマです。今回は来年度から高等学校を除く市立の全学校で導入されますコミュニティ・スクールについて、その体制や仕組み、役割、地域との関係などを、教育委員会事務局より説明をさせていただきます。

また、今年度モデル校として、すでにコミュニティ・スクールを導入しております亀田西中学校から、これまでの活動内容などをお話いただく予定にしています。その後、質疑等をお受けいたしまして、意見交換をさせていただきたいと思っております。

最後に、その他です。新型コロナの今後の状況によりましては、延期または中止する場合がありますので、ご理解をお願いいたします。

また、ミーティングに関するお問い合わせにつきましては、資料記載の問い合わせ先までお願いします。併せまして、欠席される場合につきましては、準備の都合上、恐れ入りますが、12 月 14 日火曜日までに同じく問い合わせ先にご連絡をお願いします。

## ○小林会長

ありがとうございました。今ほどのセンター長の説明で、ご質問はありませんか。各学校の教育コーディネーターや学校評議員もしくはPTAの役員の方には、各学校からもうコミュニティ・スクールに関するご案内がいつているのではないかと思います。来年導入されるコミュニティ・スクールの詳細について、ご説明をいただけたと思いますので、皆さんからのご参加も併せてお願いします。

ご意見がなければ、次に移ります。

## (2) 区ビジョンまちづくり計画策定に向けたワークショップについて

### ○小林会長

次に、(2) 区ビジョンまちづくり計画策定に向けたワークショップの内容について、松屋課長からご説明をお願いします。よろしくどうぞ。

### ○松屋地域総務課長

お疲れ様です。地域総務課の松屋です。よろしくお願ひいたします。

まず、資料 2-1 をご覧ください。区ビジョンまちづくり計画策定にかかる江南区自治協議会ワークショップの実施内容についてです。区ビジョンは、区自治協議会に代表される区民と区役所が協働し、策定する区ビジョン基本方針に基づき、まちづくりの具体的な取組みを明らかにする計画です。

主な外部環境の変化は記載のとおりで、健康の計画を策定したときより、人口減少ですとか少子・高齢化の加速、社会保障費や公共施設、インフラの更新に伴う費用の増大が見込まれるとともに、SDGs への関心の高まりといった変化が生じております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により地域活動が実施できず、地域コミュニティが弱体化する懸念が生じる一方、デジタル化の必要性に対する認識が高まり、地方への関心の高まりといった、また新たな潮流が表れてきています。

資料の下、開催概要をご覧ください。現行の計画を策定した際も実施しましたが、自治協議会委員によるワークショップを開催する予定です。今ほどご説明をしたような外部環境の変化を踏まえまして、先にご案内をしていましたとおり、11月25日の木曜日午前9時半から、この会場でワークショップを開催いたします。内容といたしましては大きく二つありまして、現行の区ビジョンまちづくり計画のふりかえりと、次期区ビジョンまちづくり計画

策定に向けた今後の方向性の検討、この二つを行うこととしております。

右側をご覧ください。具体的には、現行の区ビジョンの五つの目指す区のすがたごとに班を分けまして、三つの段階でワークショップを進行していきます。一つ目は、各施策のこれまでの取組みをプラスとマイナスで評価をする。二つ目が、評価などを基に各施策の今後の方向性について取りまとめを行う。三つ目が、目指す区のすがたの今後の方向性を取りまとめ、班ごとに発表をしていただくという予定にしております。

ワークショップは1回のみで、時間も限られておりますので、委員の皆様より事前にワークショップまでに準備をしていただきたいと思います。

次ページをご覧ください。左側は、資料 2-2 を転記したものになります。まず、現状把握シートの目指す区のすがたの実現に向けた取組みと、取組みを実施した結果としての現状と課題の欄を読んでいただきまして、各取組みに対して評価を行ってください。

評価にあたっては、道路網の充実ですとか、公共交通の利便性向上といった施策ごとに、配付をしました二つの付箋に、プラスの評価はピンクの付箋、マイナスの評価は青の付箋、マイナスは青です。それに、予め記入をしてきてください。すべての施策で、プラスとマイナスの評価をする必要はありません。また、評価のご意見は付箋 1 枚にいくつも書くのではなくて、1 枚に一つ記入をしてください。

目指す区のすがたは五つありますが、のちほど説明をさせていただきます、ワークショップの班分けで割り振られた、目指す区のすがたの施策の部分のみを評価していただきたいと思います。

なお、記載にあたりましては、のり面を上側にして、ワークショップで遠目からでも見やすいようにサインペンを使って記載をしていただけると助かります。クリアファイルを配付しておりますが、記載した付箋については、ファイルの中にあります紙に貼って持ってきていただきたいと思いますと考えております。こんな感じです。

評価したあとに、将来に想定される課題・変化を確認してください。プラスとマイナスの評価と今後の変化などを踏まえて、これから進むべき方向や、どんなことに重きを置くのか考えてきていただきたいと思います。お考えについては、ワークショップの中で発表をしていただきます。事前に付箋に書いてくる必要はありません。

また、次のページをご覧ください。ワークショップで行った意見交換をこのような形にして取りまとめる予定としております。最終的には、目指す区のすがたのこれからの方向性を発表していただきますが、方向性というところ少し難しいということでしたら、今後、重点をおいて取り組むべきことをまとめて、班ごとに発表をしていただく予定としております。

具体的なとりまとめのイメージは、資料 2-2 ですけれども、これは、のちほどご覧になっていただきたいと思います。

資料 2-3 が当日の班分けでございます。部会ですとか、選出団体などを参考にしまして、会長や区ビジョンまちづくり計画特別部会などの意見交換を経て、案を作成させていただきました。事前に施策を評価するにあたり、分からないとか不明だという点がございましたら、事務局までお気軽にお問い合わせをいただきたいと思います。

#### ○小林会長

皆さん、ご理解いただけましたか。

#### ○今井委員

多分、井上さんを見ながら、書き方の説明を聞いたほうがよいかと。

#### ○井上主査

もう一度説明をさせていただきます。今回は、ピンクと水色の付箋を配らせていただきました。ピンクはプラスの評価、水色はマイナスの評価です。各項目は、それぞれプラスの評価も 2 個とか書くのではなくて、必ず一つだけ書いてください。意見は、付箋に一つです。ポストイットも、貼るのり面が上側に、裏にのりがついているかと思うのですが、いろいろな方向になると困るので、上側をのり面にして書いてもらいたいと思っています。使うのはサインペンで、今日お配りしていますので、それを使って書いてください。

施策 (1)、(2) といって施策ごとがあるのですが、本当に全部書かなくて結構ですので、お気軽にやっただけだと思います。この資料を見て、プラスとマイナスの評価をしていただく。それは、全部これをやるのではなくて、資料 2-3 で班分けをさせてもらいました。その班分けをされた項目の目指す区のすがたのところだけでかまいません。

#### ○小林会長

よろしいでしょうか。資料 2-3 をご覧ください。資料 2-3 に項目ごと、

メンバーごとに分かれております。ですから、1、豊かな自然と都市機能の調和が取れたまちというところには、6人のメンバーがおります。今、井上さんから説明があったように、このメンバーの方は1のみの回答ということになります。2の方、人と人とのつながりを大切にする安心安全なまち。ここには、やはり6人のメンバーが、石井さんから松野さんまでおられます。その6名の方は、2についての回答ということになります。自治協始まって以来の宿題ですので、皆さん真剣にデスクワークしてください。よろしいでしょうか。

もし、詳細について疑問の方は、地域総務課の井上さんまで照会をあげていただければ、懇切丁寧に説明をしてくれると思いますので、くれぐれも宿題を忘れないようお願いいたします。よろしいでしょうか。

なければ、次に移らせていただきます。

### (3) 令和4年度特色ある区づくり予算に係る各部会からの意見・提案について

#### ○小林会長

(3) 令和4年度特色ある区づくり予算の内容について、部会ごとに説明をお願いしたいと思います。まず、まちづくり部会の田村部会長お願いいたします。

#### ○田村委員

それでは、私からまちづくり部会の報告をさせていただきたいと思います。資料3に基づいてさせていただきます。

はじめに、区役所企画事業への意見提案の地域商業活性化支援事業についてです。三・九の市については、さらなる集客や活性化につなげるため、亀田縞の活用など、仕掛けや仕組みを、他都市の成功例を参考にして検討していただきたいということ。また来年度も、コロナは今、落ち着きを見せておりますけれども、地域の商店街は厳しい状況が予想されるということでございます。亀田地区に限定せず、区内5地区に拡大して連携して取り組むということですので、適切な予算配分をお願いしたいということでございます。

二つ目の、いい汗いい食江南健康ライドにつきましては、様々な目的が詰め込まれ過ぎており、健康に寄与するイベントになっているか疑問を感じるため、目的と方向性を定めて実施することをお願いいたします。

次に、新たな取組みへの提案ということで、鮭文化の普及イベントの実施

を提案するものです。これは、江南区の平賀に、信濃川漁協があるにもかかわらず、区内でも鮭のイメージは薄い。横越の鮭のイベントを除けばでございますけれども、イメージは薄いと感じており、受精や孵化など、鮭にまつわるイベントを実施してはどうかと考えたところでございます。ちなみに、信濃川漁協では大河の感謝祭、これは1,500円出すとサケのつかみ取りや鮭汁とか、モクズガニも500円で買えるそうですけれども、こういう大河の感謝祭を行っておりますが、コロナの影響でここ2年間開催できない状況とのことです。

まずは、地元の小中学生の課外学習に取り入れてもらい、地元から鮭文化の機運醸成を図っていくことも必要だと考えているところでございます。

そのほかとしましては、江南区は三方を川に囲まれているということで、川をテーマにした写真コンテストの実施による魅力の発信、発掘の取組み、二つ目の、地域の祭が開催できない中、わく灯籠といった用具の有効活用、三つ目の、次世代の乗り物として期待される電動二輪車などの車両について、将来的な検討を進めてほしいといった意見、提案があったところでございます。

#### ○小林会長

ありがとうございました。続きまして、安心安全部会の山崎部会長お願いします。

#### ○山崎委員

大江山の山崎です。安心安全部会からご報告いたします。はじめに、既存の事業への提案、意見ですが、三つございました。

一つ目は、江南区安心・安全な地域づくりの推進事業についてということでございます。ジュニアレスキュー隊講習会について、講習を受けた中学生たちを、その後も地域で活動できる場を設けていただきたいと思います。

二つ目ですが、江南区ふれあい・ささえあいプランの推進事業についてでございます。障がい者アート展について、非常に素敵な作品ですので、亀田駅での展示終了後は各地域巡回に展示をいたしまして、より多くの人目に触れるようにしていただきたいと思います。

それから、フレイル予防訪問についてでございます。コロナ禍で外出機会が減っているお年寄りが増えている中でございますので、ぜひ継続していただきたいと思いますし、子どもたちの居場所についても、区内で居場所が増

えるといいと思います。

三つ目は、地域で子育て～見守る目 見守る心～の事業についてです。コロナ禍で、孤独を感じる母親はますます増えているので、オンラインなどを活用した育児相談等ができないか検討していただきたいと思います。

それから、最後にそのほかの意見、提案でございます。学校などの備蓄物資は最小限になっておりますけれども、避難所運営訓練等を行って、必要な物資の声が出てきた場合には、備蓄物資として検討してほしいと思います。

また、各地域で避難訓練や避難所運営訓練などを実施している様子を、写真だけではなくて動画で撮影をいたしまして広く共有することで、避難所の雰囲気や訓練内容など具体的なイメージを掴みやすくなると思いますので、モデル的に実施をしてほしいと思います。

#### ○小林会長

ありがとうございました。続きまして、環境・教育部会の間島部会長お願いします。

#### ○間島委員

環境・教育部会から説明をさせていただきます。まず、事業全体に共通して言えることですが、事業のPR不足や地域で活躍する人材が不足していることが課題としてあがりました。PR方法の工夫や人材発掘に力を入れることが重要だと思います。

そのほかの各事業についての意見、提案は三つあがりました。一つ目は、「農」に親しむ事業についてです。江南区では、農業が身近にあり過ぎて特別感がないため、わざわざ「農」に親しむというところに目が向かないように思われます。それよりは、農家の支援をしていただいたほうがよいのではないかという意見が出ました。

次に、北方文化博物館を活用した文化発信事業についてです。伝統芸能の継承はとても大切であると考えます。しかし、地元神楽のメンバーの高齢化であったり、新型コロナウイルスの影響で、2年連続で発表の場がなかったりして大変危機的状況にあると思われます。各団体が抱える問題を吸い上げて、伝統芸能の継承を守るような働きかけが必要ではないでしょうか。

最後に、文化芸術の創造・発信事業についてです。公募型プロポーザル方式が続いていますが、質の高い文化、芸術を区民に提供できているか、疑問に思います。それよりも、区に縁のある人にスポットを当てていただきたい



と思います。

#### ○小林会長

ありがとうございました。今ほど、3部会から、令和4年度の特徴ある区づくり予算の内容、概要についての説明をお願いしましたが、この内容に基づいて、皆様のご意見、ご質問をお受けしたいと思いますが、何かございますか。今年、去年と、いろいろな形で取りかかっておりましたけれども、ご存じのように、コロナ禍で実施できないということも多々あったわけです。新しく令和4年度ということで、各部会で検討した内容ですので、実際に具体的に。

#### ○小野委員

酒屋町商工会の小野でございます。安心安全部会で出ました、江南区安心・安全な地域づくりの推進で、ジュニアレスキュー隊育成講習会についてという内容がございまして、私自身が消防団ですので、ジュニアレスキューの育成に関して10年ほど携わらせていただいております。

講習を受けた中学生たちのその後で、地域で活躍できる場を設けるということ自体は非常に大賛成ではあるのですが、具体的に言うとどのような形でどうすればいいのかということの意見がその場で出たのでしょうか。それをお聞かせいただければと、関係団体と協議していく関係がございまして、参考までに聞かせていただければと思います。よろしく申し上げます。

#### ○小林会長

山崎部会長からでしょうか。

#### ○山崎委員

ありがとうございます。意見としては、先ほど報告したとおりですけれども、まだ具体的な話は出ておりません。今後、詰めていきたいと思っております。今のところは、こういった形にできたらいいというような話をしている段階で、具体的にはまた、もし皆さん方からの意見も拝聴いたしまして、詰めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

#### ○小野委員

ありがとうございます。このコミュニティ協議会の中でも西脇委員ですとか藤田委員も、そういった関連のジュニアレスキュー隊に直接携わっている委員も多数おられますので、そういったことをこの場を通じて意見交換をしていただければと思っております。どうもありがとうございます。

## ○小林会長

ありがとうございました。これは、各中学校でジュニアレスキュー隊の講習、消防からいろいろ各学校でやっていると思います。それは、やはり地元の、いわゆる避難所の部分の体制で活用できれば有効だと思いますので、安心安全部会の方はこれをもう一度、その辺の内容を詰めた形でご協議いただければありがたいと思いますので、皆さんからの意見を参考にさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。ほかにございませんか。

## ○今井委員

横越コミュニティ協議会の今井です。安心安全部会の既存事業のところ、地域で見守り応援事業～見守る目 見守る心～で、オンラインなどを活用した育児相談等というご意見が出ているのですけれども、私は公民館がされているゆりかご学級の講師に呼んでいただくことも多いのですけれども、やはりお母さんたちがなかなか来られる機会が減っていて、家族以外の大人と話すことがとても久しぶりというお声も、本当にここ2年ですごく多くなっています。

あと、理事をしているNPO法人でも先月、オンラインの育児相談会をしたのですけれども、やはり産後でなかなか小さな赤ちゃんを抱えて外に出るということは、本人も体調面でも難しいですし、あとは家族の反対を受けてなかなか外に出られませんという声も本当に実際にあって、こういうオンラインの形の育児相談があつてすごく嬉しいですという生のお声をいただいたので、ぜひこういうことが広がっていくといいと思うことと、育児相談ということだけでなく、本当に喋る機会、お話する機会というところで、子育てサロンのオンライン版みたいなことでも、そういう少しラフな形から入ることもいいのかと感じています。

あと、障がい者アート展についてですけれども、もし地域巡回してということであれば、ぜひ地域の茶の間とか、高齢者の方でなかなか亀田駅に足を運べない方たちが、展示の候補に入ってくると嬉しいと思います。

あと、まちづくり部会の鮭文化の普及イベントも、うちの夫が阿賀野川で鮭の漁をしているのですけれども、うちの子どもたちは本当に、パパがとったお魚が一番おいしいというくらい、すごく食育にもなっている部分があるので、ぜひこういうことが江南区でも、本当に川に囲まれているので普及されるといいと思います。

### ○小林会長

ありがとうございました。まず、まちづくり部会の方、この辺のご意見を参考にして、できる限り実現するようなことで、また検討をしていただきたいと思います。

コロナ禍で、子どもの子育ての問題。これは区民生活課が主となるのか、健康福祉課が主になるのか定かではありませんけれども、この辺も安心安全部会の方、その辺の担当、主管課等とまた協議していただきながら、前向きな形で進めていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

### ○小野委員

再度申し訳ありません。酒屋町の小野でございます。環境・教育部会のところで一番下、文化芸術の創造・発信のご意見をいただきまして、公募型プロポーザル方式が続いているがということで内容の指摘がございました。私は公募型プロポーザル検討委員会の委員長をさせていただいておりますので、非常に耳が痛いということで、この中にも選定委員の方が複数おられまして、こういった内容が流行になり過ぎていてとか、検討する中には経営の状態であるとか、せつかくの公金を投入するわけですから、事業が確実にできるのかとか採算性であるとかそういったことも非常に勘案していく中で、やはり集客に関しては確実に確実なところとなりますと、人気者を呼んで確実に赤字が出ないという形になり過ぎていっている部分はあったきらいはあったかと感じております。

こういった意見を参考に、やはりお金を使うから地元の人たちが、地元の豊かな芸術文化を発信する機会に触れるようなところにも配慮できるよう今後、検討を進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

### ○小林会長

ありがとうございました。今ほどの意見も踏まえて、また環境・教育部会の方でお願いできればと思っております。ほかにございませんでしょうか。

なければ、次の議題に移らせていただきます。

## 4. 報告

### (1) 令和3年度区自治協議会全体委員研修について

#### ○小林会長

はじめに、令和3年度の事業協議会全体の研修会について、地域総務課から説明をお願いいたします。

## ○松屋地域総務課長

それでは、資料 4-1 をご覧ください。自治協議会委員の全体研修会について、お知らせをいたします。この研修は、自治協議会のさらなる活発化を図るため、1年に1回、全区の委員を一堂に会し開催しているものでございます。昨年度は、新型コロナの感染状況を踏まえ中止としましたが、今年度は12月9日木曜日の午後、西区の黒崎市民会館で開催する予定でありまして、研修会の内容などは、資料にご案内のとおりでございます。ついては、この研修への出欠を確認させていただくためにお配りをしております資料 4-2、次の紙ですけれども、出欠等確認表（江南区）を11月5日金曜日までに、地域総務課までご提出をいただきたいと思います。ご多忙のところ、誠に恐れ入りますが、万障繰り合わせのうえご参加くださいますようお願いを申し上げます。

過去の開催状況を見ますと、最大で全自治協委員の半分まで届かなくて、120人台くらいが一番多かったかという感じになっていきますので、ぜひ今年は50パーセントを超えていただききたいと。私の前の職場の関係もありますので、皆様のご参加をお待ちしております。

## ○小林会長

ありがとうございました。12月9日、これは全体の8区の全体会議になるわけです。過去にもありましたが、少し人数が少なかったということもありますので、できるだけ多くの方や皆さんに参加をしていただければと思います。井の中の蛙にならないように、ほかの区の状況をいけば、ある程度確認できると思いますので、できるだけ大勢の皆さんから参加していただければと思います。

足については、ここにありますようにバスを用意するというごさいますので、お忘れなくお申し込みをいただければと思います。

## (2) 江南区自治協議会各部会の報告について

### ○小林会長

次に部会の報告に移ります。まず、まちづくり部会の田村部会長からお願いいたします。

### ○田村委員

第6回まちづくり部会の特色ある区づくり事業以外の概要、裏面にマップの作成の取組みについて報告させていただきます。

マップ作成の今後の進め方については、先月まち歩きマップ作成の経験を持つ委員を中心に、検討した内容を確認しながら部会で意見交換を行いました。区内には曾野木、横越地区、横越は沢海を除いたまち中の部分ですが、その一部にマップが存在しないということで、また部会にお二人の曾野木の委員がいること、まだ時間的な制約などを考慮して、まず今年度は曾野木地区について作成に取り組むことを確認したところです。

主な意見としては、この地区は、ニュータウンエリアと道や堤防に特徴のある曾野木エリアがあり、深掘りをする事で光が当てられる地域ではないかということでございます。観光や歴史など、掲載するコンセプトについて決めるにあたっては、地元が何を掲載し、何を発信したいかを確認する必要があります。また、作成にあたっては、曾野木コミュニティ協議会が中心になり、部会がバックアップしながら進めていくことを確認したところです。区内の全エリアのマップが完成したのち、江南区全体のマップを作成し、その中にそれぞれの地域の魅力を関連づけて紹介することで、コロナ収束後、来訪者の増加やまちの魅力の発信につながるものと考えているところでございます。

今後は、11月中に部会で、実際に曾野木のまち歩きを予定しております。また、曾野木地区の素材、いいネタを集め、コミュニティ協議会や部会の意見を反映させながら、マップの概要を描くところまで、今年度は実施していきたいと考えているところでございます。

#### ○小林会長

ありがとうございました。続きまして、安心安全部会の山崎部会長、お願いします。

#### ○山崎委員

安心安全部会です。先ほどと重複いたしますので、割愛をさせていただければと思います。なお、本日の部会で今年度の取組み内容について意見交換を行う予定としております。

#### ○小林会長

続きまして、環境・教育部会の間島部会長お願いします。

#### ○間島委員

令和4年度区役所企画事業への提案等につきましては、先ほど報告したとおりです。

次に、今年度に事業を企画しているスポGOMI大会ですが、来週11月3日水曜日に開催することが決定しています。その広報や賞品などについて確認をいたしました。賞品については、各地区での名菓などの詰め合わせを用意する予定です。当日は、参加者、スタッフを含め100名以上が参加する予定ですので、新型コロナウイルス感染症対策のため、細心の注意を払って事業を実施したいと思っております。

#### ○小林会長

ありがとうございました。続きまして、区ビジョンまちづくり計画策定特別部会藤田部会長、お願いします。

#### ○藤田委員

第2回区ビジョンまちづくり計画策定特別部会を開催しましたので、ご報告いたします。本来は9月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会議が延期となり、ようやく開催することができました。

まず、本日、事務局より説明がありました次期区ビジョンまちづくり計画策定に向けたワークショップについての説明を受けました。次に、幅広く区民の意見を把握するため、自治協議会の委員へのインタビューを実施することにしました。自治協議会の委員におかれましては、今後、事務局よりインタビューのお願いがありますので、ご協力よろしく願いいたします。

また、地域で活躍している、また活動している区民の方については、まず各地区から1名ずつ選出し、今後インタビューのお願いをすることとしました。次回は、12月に特別部会を開催する予定です。

#### ○小林会長

ありがとうございました。今までの四つの部会について、何かご質問やご意見ございますでしょうか。ございませんか。ないようです。議題と報告は以上になります。全体を通して、何かご質問やご意見は。

#### ○田村委員

資料4-1の自治協の研修会ですけれども、講義と、(1)で事前発表があるものですから、この講義をどなたがされるか聞かせていただけますか。

#### ○松屋地域総務課長

今のところ、自治協議会委員ではない秋葉区の大学の教員ということで今、計画をされていまして、まだ正式には決まっていないと聞いています。

#### ○小林会長

ほかにございませんでしょうか。なければ、事務局から連絡事項をいただきます。

## 5. 連絡事項・その他

### ○土田地域総務課長補佐

ありがとうございます。それでは、連絡をさせていただきます。はじめに、サンキューマルシェの開催および江南区PR用卓上カレンダーについて、産業振興課長より連絡をお願いします。

### ○塚本産業振興課長

産業振興課の塚本でございます。私から、今ほどの件について、報告とご連絡をさせていただきます。

先ほど、本日、机上配付をさせていただきましたカレンダーについてです。今ほど、観光PRということもありましたけれども、もともと交流人口を増やすために作ったものではございましたが、新型コロナウイルス感染拡大を期にどちらかという、地域の皆さんから、改めて地域の素晴らしさを認識していただく、一時的に離れてもまたそれを思い出していただくというような形で、一昨年、江南区で募集をいたしました素晴らしい景観写真を使ったカレンダーを作成いたしました。

江南区出身の学生で、首都圏などで学ぶ方々が多数おられますけれども、そういった方々に対する応援として、企業とタイアップし、江南区PR魅力発信プロジェクトを地域総務課が所管されていらっしゃるんですが、私どもも参加させていただきまして、カレンダーと一緒に贈らせていただきました。

表紙のメッセージにつきましては、うちの若手職員から、遠く離れた友達に向けたメッセージというような形で、郷愁の念を持ってもらうということで、あえてこのような裏表紙を表に貼って、それを読んでいただいているからカレンダーを使っていただくというような形で学生の心に響けばと考えております。

そのカレンダーにつきましては、発送とか当課が主催する事業などのPR部分として、これで配付をさせていただきたいと考えております。

続きまして、事前配付をいたしました、亀田三・九の市 3・9 マルシェについてのチラシでございます。来る 11 月 3 日、朝早いのですが午前 7 時から大体正午くらいまで、通称亀田市場通りにおきまして開催いたします。チラシのとおり、当日は若手農家の方々から、新鮮な野菜を持ってきていただ

くほか、区内の有名なお菓子店のお菓子、キッチンカーによりますカレーやタイ料理、ローストビーフ丼、こういったものをサンキューマルシェという企画の中でご賞味いただきたいと考えています。自治協議会委員の方々にもぜひお出でいただきたいと思い、ご案内をさせていただきました。

なお、当日は亀田コミュニティセンターが休館日ということで、臨時駐車場としてご利用いただくことができます。コロナが一息ついている今、歴史ある市の様子や屋外での飲食を楽しんでいただければ幸いです。

### ○土田地域総務課長補佐

次に、チラシを用意させていただきました、新潟市Oh！弁当で地域のお店応援事業について、ご連絡させていただきます。昨年と今年の3月から6月にかけても行わせていただきました、地域の仕出し、割烹店を応援するという目的で、お弁当を購入したときに補助がありますという制度ですけれども、また新しく始まりまして、申請はもう10月18日から始まっていますが、利用は11月1日から年を明けた1月31日までを、一応今利用期間として新しい制度が始まりました。

こちらは、今まで、前回3月から6月まで行ったもの等は全市で行っていたのですけれども、各区役所が実施主体になって行っていたのですけれども、今度から、下を見ますと経済部商業振興課が主体になりまして、実際には実務はやはり区役所でやるのですけれども、市の事業として変わりました。

変更点は、上の利用できる人ということで、今まで、過去のお弁当の事業としては団体が対象だったのですけれども、今度は個人の人ということで、個人が対象になりました。変更点もう一つ、税抜き単価3,000円以上というところは同じですけれども、今まで10個以上という制限があったのですけれども、5個以上から制度を利用できるようになったということです。割引額については変わらないです。もう一つ大きな変更点は、真ん中から下の右側になりますけれども、申込方法ということで、基本的にはスマートフォンをお持ちの方については、インターネットの簡単申し込みというものがあまして、そこから申し込む方法、もしくは市のコールセンターで申し込む方法というこちらで申し込んでいただくというところが大きな変更点です。

とはいえ、こちらが難しいという方等がございましたら、区役所地域総務課に来ていただければ、そこでも申請できるようにはなっております。このような形で、またお弁当事業ができましたので、また皆さんから使っていた



だきまして、地域のお店を応援する目的で使っていただきたいと思います、紹介をさせていただきます。

よろしいでしょうか。

#### ○松屋地域総務課長

先ほどの自治協議会委員研修の中身ですが、また訂正の訂正をさせていただきます。最初の講師につきましては、中間支援組織または大学の教授ということで、別に秋葉区ということではなくて、今、適当な人材を市民協働課で今、探している段階ということでございます。続いての事例発表については、秋葉区と東区から事例を発表するというので、秋葉区は議論の活性化に向けた運営上の工夫ということで、ワークショップの導入ですとか、リモート研修会を発表されるということになっています。東区では、提案事業の実施方法の工夫ということで、自治協提案事業について、任期2年の中で1年目は調査、研究をやって、2年目に実際に事業を実施するという流れについて事例を発表するというので今の段階でなっているということでございます。

#### ○土田地域総務課長補佐

次に、部会の開催について、ご連絡させていただきます。このあと、本会議終了後に第7回目の部会を開催させていただきます。まちづくり部会委員の皆様は、3階の入札室、この隣の部屋になりますが、入札室をお願いいたします。環境・教育部会委員の皆様は3階の301会議室へ、安心安全部会委員の皆様はこの会場をお願いいたします。また、今回もお手数ですけれども、移動の際は、ご自分の名立てをお持ちになって移動をお願いいたします。

### 6. 閉会

#### ○坂井委員

本日本日予定されておりました議事はこれで終了いたしましたので、閉会いたします。

次回、令和3年度第8回目の自治協議会は、11月22日木曜日、午前9時30分から区ビジョンまちづくり計画策定のワークショップを開催後、本会議を開催します。開催時間が早まっていますので、ご注意願います。お疲れさまでした。